

特集

私の『目標』

4年後の自分を創造する。





特集

私の『目標』 4年後の自分を創造する。

2010年4月、たくさんの夢や希望を抱いた新生入生たちが、新たな学生生活をスタートさせました。

新生入生にとって大学生活は、高校までと違い、学習面においても生活面においても今まで経験したことのない未知との出会いの連続だと思えます。大学生として、大学の講義やゼミ、特修講座や資格講座で学ぶことは基本的にありますが、それ以外のクラブ・サークル活動やアルバイトなど、この時期にしか経験できない多くのことを体験することが有意義なキャンパスライフにつながります。また、そのような多様な経験の中で、社会で活躍するための基礎的な力であるコミュニケーション能力や目標達成に向けた実行力が培われます。

新生入生の皆さんは、それぞれいろんな夢と目標を持って大学に入学してきたと思います。大学ではそれらをなし遂げるため、学ぶ意欲と知的好奇心を常に持ち続け、自分の力で未来を切り拓いていかなければなりません。今回の特集では、4人の新生入生から、4年間の大学生活で挑戦したい夢やなし遂げた目標について話を聞き、それらを実現するための自身の取組などについて語っていただきます。

大阪経済法科大学学報 [リベラ]

LIBERA

volume 78/2010



2010年7月31日発行
【編集】
大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511
大阪府八尾市楽音寺6丁目10番
TEL072-941-8211
FAX072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp/>

CONTENTS

3 特集

私の『目標』 4年後の自分を創造する。

早坂一基さん (経済学部1年生 / 警察官志望)

泊 紋菜さん (法学部1年生 / 司法書士志望)

松本瑞希さん (経済学部1年生 / 海外留学希望)

三橋洸介さん (法学部1年生 / オリンピック出場目標)

8 [KEIHO INFORMATION]

2011年新春完成に向け、花岡キャンパスに 新たなシンボル「新学生ホール棟」建設中

10 2010年度 大学予算・事業計画報告

14 [Keiho Vitality]

世界大学空手道選手権大会日本代表に選出
アジアテコンドー選手権大会結果
2010年度前期学生大会を実施 他



16 [経法タイムス]

田中誠太八尾市長講義「首長の役割と機能」
教育後援会総会・父母懇談会開催
新任教員紹介 他

18 [国際交流通信]

北京大学総長代表団との協議
マセッドカレッジ日本短期研修プログラム実施
八尾市国際交流センターから自転車寄贈 他



19 [キャリアアップステーション]

2009年度 就職戦線
『就業力』を身につける。

20 [元気いっぱい!躍動する経法生]

武田 隆三郎さん (法学部4年生)



街の安全と安心を守り、
社会に貢献できる
警察官になりたい。

早坂 一基さん(経済学部1年生)

私が警察官を目指すようになったのは、物心がついたときに、制服を着て街の安全を守る警察官の姿が非常に格好よく見えたのがきっかけでした。それ以来、子供のときから大人になったら警察官になりたいという夢をずっと持ち続けていました。

高校3年生のときに、親の転勤で宮城から大阪に引っ越してきたのですが、警察官になりたいという目標があったので、大学には進学しようと思っていました。最初は、見知らぬ地での大学選びということもあり苦労はしましたが、いろんな大学を見たり、調べたりして、警察官になるために必要なサポート体制が充実している大阪経済法科大学に進学することを決めました。

大学に入学して約4カ月が経ちますが、一番感じることは「自己責任」という言葉の重みが、高校のときとは比べものにならないくらい増したということです。例えば、大学では授業を欠席しても誰からも注意を受けま

せん。ただ、授業に出席しないことで、損をするのは間違いなく自分自身だということですね。大学生になって確かに自由は増えましたが、その自分分のしかかる責任感が増したと感じています。

文武両道を実現し、
目標に向かって前進

現在、正課の授業で公務員試験の主要科目である「数的推理」「判断推理」を受講し、計算力や判断力、論理能力などを身につけるための学習を行っています。また、特修講座の公務員基礎講座を受講し、「基礎数学」や「論作文」など、公務員試験に必要な基礎を学習しています。途中、体調を崩したりして授業や講座に出席できない時期があったのですが、その遅れを少しでも取り戻せるよう、今後は予復習にも力を入れて頑張っていきたいと思っています。

警察官になるためには基礎体力も必要にな

るので、大学入学後、体育会空手道部に入部し、日々厳しい練習に励んでいます。中学・高校と柔道部に所属し、二段の資格を取得しているのですが、自分自身をさらに高めるため、大学在学中に空手道初段の資格を取得したいと思っています。

人の心を理解できる
警察官に

近年、警察の不祥事や残虐な事件・事故が後を絶たない中、将来はそのような事件・事故をひとつでもなくし、社会に貢献できるような警察官になりたいと思っています。被害者・加害者それぞれの心理を理解し、同じような過ちが二度と起きないように社会にしたいと思っています。そのためにも4年間という限られた学生生活の中で、いま自分がすべきことを一つひとつ確実にやり遂げ、警察官になるという目標の達成に向け、これからも努力し続けていきたいと思っています。



幅広い専門知識と
論理的思考力を身につけ、
市民の身近な法律実務家
「司法書士」を目指したい。

泊 紋菜さん(法学部1年生)

大阪経済法科大学には、経済学部・法学部の領域を越え、相互の学問を学ぶことのできる「経法相互乗り入れ制度」があることやSコースと呼ばれる特修講座、また各種資格取得のための資格講座が充実していることが決め手となり、入学することを決めました。

私が、司法書士という職業を目指すようになったのは、「街の法律家」と言われる司法書士の取り扱う主な業務が、建築物などの土地の売買、名義変更の相談、相続や遺言をめぐる相談など、我々の生活に密着しているものが中心で、すごく社会に貢献できる職業ではないかと感じたからです。また、司法書士が取り扱っているそのような業務内容に、やりがいと自分をさらに成長させてくれる可能性を感じたからです。

実際、司法書士になるというのは高い目標ですが、正課授業や特修講座の学びを通じて一つでも多くのことを学び、同じ志を

持った友人たちと切磋琢磨しながら、夢の実現に向けて頑張っていきたいと思っています。

正課授業と特修講座を
効果的に活用

正課授業では、法学部の入門科目である「公法の基礎」「民事法の基礎」「刑事法の基礎」を受講し、法律の基礎的知識の修得に努めています。1・2年次は、主要な法律科目を中心に勉強し、順次、専門教育科目や演習を履修して幅広い法律知識と法的思考力を養いたいと思います。

特修講座の法職基礎講座では、目標としている法学検定4級を必ず取得したいと思っています。また、自身の法学知識の向上やスキルアップを目的に、宅地建物取引主任者(宅建)や秘書検定試験などの各種資格・検定試験にも積極的に挑戦していきたいと思っています。在学中に司法書士試験に合格するのは容易ではないですが、後で後悔

したくないので、在学中に自分がやれる限りのことは精一杯やっていきたいと思っています。

幅広い視野を備えた
法律実務家に

今はまだ、法律の基礎中の基礎を勉強している段階ですが、これまで学んだ知識や今後大学で学ぶ知識を自分の中でしっかりと吸収し、リーガルマインド(法的思考)だけでなく、経済や環境問題など、様々な分野についての深い知識と幅広い視野を兼ね備えた法律実務家になれるよう、4年間の大学生活を過ごしたいと思っています。そして将来、司法書士試験に合格し、一人前の司法書士になったときには、様々な問題で困っている人を助け、その人たちが人生の新しいスタートラインに立てるような手助けをしていきたいと考えています。



ネイティブスピーカーと
意思疎通できるくらいの
語学力を身につけたい。

松本 瑞希さん(経済学部1年生)

高校生のときから、大学では経済学部で国際経済について学びたいという思いがあったのと、海外留学等を体験して語学力を向上させたいという思いを持っていました。大阪経済法科大学には、その二つの目的を達成するための教育カリキュラムと国際教育プログラムが充実していることに魅力を感じ、入学することを決めました。

大学の授業は、高校までと違い、基本的に自分の意思で履修する科目を選択しなければならぬので、最初は戸惑いを感じました。自分の目的・目標に見合った科目は何か、どの科目から履修するのが自分にとってよいのかなどを考えながら、授業要項等を参考に何回も修正して春学期の履修科目を決めました。

大学の授業では、英語の授業や大学演習などの少人数による授業の他に、1年生だけでなく、2年生以上の上級生も出席する講義科目などがあるので、目的意識を持って能動的に学ぶことの重要性を認識させられました。

在学中の目標は、
TOEICで「800点」取得

私が英語に興味を持つようになったのは、高校の修学旅行でオーストラリアに行ったのがきっかけでした。人生で初めての海外旅行ということもあり、修学旅行自体はとても楽しい思い出になったのですが、ホームステイ先の家族と話したときに相手が話していることは理解できたのですが、自分が伝えたいことを相手に上手く伝えることができず、大変悔しい思いをしました。そのときに、もう一度英語をしっかりと勉強して、語学力をつけた上で、海外に行きたいという思いを持つようになりました。

大学入学後は、英語圏留学コースの「英語」科目で、「読む・書く・聞く・話す」の基礎を学んでいます。大学の授業以外にも、自宅に帰ってから海外のテレビ番組やニュース番組、洋楽などを聞き、その中から自分がどれだけの英単語を正確に聞き取ることができるのか、ノートに書き出したたりするトレーニングを行い、リスニング力の

向上と英単語の習得に力を注いでいます。また、TOEIC試験の勉強も始めたので、大学の資格講座も上手く活用しながら、卒業までに800点を取得できるように頑張っていきたいと思っています。

海外留学を通じて世界観を広げたい。

2年次には、国際教育プログラムを活用して、オーストラリアに留学したいと考えています。もちろん語学力を向上させることが一番の目的ですが、その国の文化や歴史などについても学びたいと思っています。また、留学先でいろんな国の人を作ることも目標のひとつです。そして、4年次には、イギリスにも留学したいと考えています。将来については、まだ明確な目標はありませんが、まず在学中に掲げた目標をしっかりと達成できるよう、日々の勉学に励みたいと思います。また、留学コースで中国人の友人とも知り合うことができたので、後には中国語の習得にも挑戦したいと考えています。



確実にステップアップし、
日本代表として
オリンピックの舞台に立ちたい。

三橋 洸介さん(法学部1年生)

大阪経済法科大学でテコンドーをしたいと思った一番の理由は、バルセロナオリンピックに日本代表として出場した山下監督(教務課職員)が率いるテコンドー部があったからです。それまでは、神奈川県にある実家の道場で練習をしていたのですが、練習環境を変えたいという思いが強かったのと、自分がテコンドーを始めた頃に憧れていた監督やコーチから直接指導をしてもら

えることで、自分自身のレベルアップにつながると思い、大阪経済法科大学に入学しました。

高校までは、実家で生活をしていましたが、身の回りのことの大半は親の手助けを得ていました。大阪に出てきてからは一人暮らしを始めたので、それまでの生活とは180度変わりました。食事の準備から洗濯、部屋の掃除まで、いままで当たり前のようにやっていたことが、すべて自分でやらなければならないようになった

で、最初の1カ月は慣れないことばかりで大変でした。

努力した数だけ、
目標達成に近づける。

テコンドー部は、平日はほぼ毎日練習があるのですが、厳しいときはひたすら蹴り続けたりする練習を行っています。また、体力を使う練習以外にも、相手の色々な動きを想定し、相手がよけられないようなタイミングで蹴りを出すといった頭脳の練習も行っています。

当面の目標は、部員一丸となり、全日本学生テコンドー選手権大会で総合優勝を果たすことと、個人的には全日本テコンドー選手権大会での優勝、ユニバーシアードや世界学生テコンドー選手権大会といった国際大会で表彰台に上ることです。昨年テコンドー部は、全日本学生テコンドー選手権大会で、総合優勝を果たしているの

で、入学して負けたと言われぬように、厳しい練習にも弱音を吐かず頑張りたいと思います。また、テコンドーを始めたときの世界で活躍する選手になりたいという夢が、いまは明確な目標になったので、個人でも良い結果を出せるよう精一杯努力していきたいと思っています。

最終ステージは、
オリンピック出場

テコンドーをしている限り、最終目標は日本代表としてオリンピックに出場し、ひとつでも高い表彰台に上ることです。いまはまだ、そこまでの実力がありませんが、その目標に一步でも近づくことができるように、一日一日を無駄にせず練習に取り組んでいきたいと思っています。そして、もう一つの目標である消防士になれるよう、学生の身分である学業にも全力で取り組んでいきたいと思っています。

**キャンパスの賑わいと四季を感じる開放的空間
「キャンパスレストラン」**

白と木目調を基調とした内装デザイン、3.8mと高く設計した天井で、清潔感とゆとりのある空間を作り出します。また、南側の壁は全面ガラス張りとなっており、自然光を取り入れると同時に、四季の変化やキャンパスの賑わいを感じることができます。



**ゆったりと楽しく交流できる憩いの空間
「学生ラウンジ」**

様々なタイプのソファやテーブルが配置され、中央にはドリンク・軽食を楽しめるカフェが開設されます。ゆったりと読書をしたり、友人と楽しく語ったりと、様々なキャンパスシーンでの利用ができるよう工夫しています。



**様々なイベントを想定した感動の発信拠点
「プレミアムホール」**

様々なイベントに対応できるホールとして、スクリーンやプロジェクター、放送・音響施設を完備し、多目的に活用できるように計画しています。講演会や各種セミナーなどはもちろん、学生主催のコンサート・ライブなどの会場としても利用できます。また、大阪平野を一望できる屋外ウッドデッキも兼ね備えています。



【新学生ホール棟の建設計画】

構造規模：鉄骨造・地上3階
 建築面積：768.71㎡
 延床面積：1680.20㎡
 1階・・・731.78㎡／2階・・・511.68㎡／3階・・・438.74㎡
 監理者：株式会社 松田平田設計
 設計・請負者：株式会社 大林組



**2011年新春完成に向け、花岡キャンパスに
新たなシンボル「新学生ホール棟」^(仮称)建設中**



**花岡キャンパスに新たな
コミュニケーション空間が誕生**

「新学生ホール棟(仮称)」は、キャンパスレストラン、カフェラウンジ、イベントホールを備え、学生の皆さんが快適なキャンパスライフを過ごすための空間として開設されます。建設されるのは、図書館や教室棟が集まる教育エリアと、ふれあい池などの自然エリアが接する場所です。多くの人が行き交うこの場所に建設することで、学生・教職員の豊かなコミュニケーションを深めることができます。

地上3階建ての同棟は、1階に学生のメインダイニングとなる「キャンパスレストラン」、2階に授業の合間などに休憩できる「学生ラウンジ」、3階は様々なイベントを実施する「プレミアムホール」を設置する予定です。新たな交流・出合いの空間を生み出す「新学生ホール棟(仮称)」の誕生にご期待ください。

**特徴的なデザインと
細やかな配慮を兼ね備えた**

「キャンパスの新しい顔」
 花岡キャンパスは、緑豊かな自然環境と白を基調とした校舎群

が印象的なキャンパスです。

この景観にマッチするよう、「新学生ホール棟(仮称)」も白を基調としています。緩やかなカーブを描く黒の三角屋根は学生のための「家」を象徴するとともに、キャンパス全体にアクセントを与えるデザインになっています。

東西両サイドにあるガラス張りのエントランスホールは、2層吹き抜け、天井までの高さ7.75mとなっており、心地よい開放感を与える設計になっています。また、バリアフリーに配慮した車椅子対応のエレベータの設置、女子トイレにパウダースペースやフットライティングボードを設置するなど、学生の皆さんが気持ちよく利用できるよう設計しています。



2010年度大学予算・事業計画報告

2010年度大学予算・事業計画が3月29日の理事会で承認され、4月1日より執行されています。

本学では、大学の主な財源である学生生徒等納付金収入すべてを教育研究の充実と大学の発展のために活用する、大学予算制度を導入しています。「2010年度大学予算書」は13ページに記載したとおりですが、同予算に基づいて実施されている2010年度の主な事業計画の内容を以下に紹介します。

2010年度 大学事業計画の概要

■経済学部・法学部 学士課程教育を充実

建学の理念及び学則に基づき、学生の多様なニーズと社会からの要請に応える充実した

■特修講座・資格講座を強化

公務員講座と会計職講座を正課と一体化した運営を行うことにより、専門職養成の特別プログラムとして発展させます。また、法職講座では、法学部との連携を緊密にし、志望の法科大学院への進学を実現します。

宅建、ファイナンシャルプランナー、販売士、会計系資格、情報系資格等就職に強い資格取得に向けた指導を強化します。また、難関試験や大学院等の合格に向けた学習指導・受験指導を強化し、合格実績を着実に向上させます。

■特色ある国際教育の実践

ロンドン大学、北京大学など海外16カ国・地域38大学・研究機関との国際交流の成果を踏まえ、「国際教育プログラム」を推進します。「国際教養副専攻(言語コミュニケーション)」を中心に、国際教育プログラムへの参加を拡大し、教育効果を向上させます。さらに、英語

大学教育を行います。学生が自ら学び、目標を達成することができる教育を目指し、厳しい経済状況下でも「実学の経法大」としての真価を発揮する教育を実践します。キャリア形成を柱として、学部コース制に加え、副専攻制度、体験型参加型学習、特修講座(Sコース)等を組み合わせ、特色ある学士課程教育を行います。また、演習での細やかな学習指導を進め、1年次から4年次までの継続的な学生支援を充実させます。

法学部では、法曹、公務員志望者に対する支援を充実させ、「リーガルライティングⅠ・Ⅱ」の新設や、特別な教育プログラムを展開します。また、「法学検定試験」を活用し、学習到達度の判定を行います。そして、特別講義や講演会、学生研究発表大会等、多様な教

育をはじめとする外国語運用能力を高め、国際性の涵養に努めます。また、八尾市国際交流センターとの地域連携事業や産学連携事業を推進します。

■ICTを活用した教育改革、 情報教育の推進

ICT活用能力の向上に向け、情報スキルプログラムを充実し、「ITパスポート試験」合格者を多数輩出します。初年次教育における情報教育を充実し、正課と資格講座の連動によって、情報系資格合格者を増加させます。ノートPCの無線接続エリアの拡大をはじめとした情報環境の整備を進め、ICTを活用した双方向型・参加型授業を充実させ、教育の魅力、効果の向上に取り組みます。また、学生サービスの向上のため、学生証をICカード化します。

■修学支援と 学生生活支援の充実

多様化する学生ニーズに応

育プログラムを実施します。

経済学部では、「EREMIXロ・マクロ特別プログラム」を強化し、コース制を充実させます。また、演習を充実し、卒業論文指導を強化します。2年次以降の専門演習で個別指導を充実させ、就業力向上に向けた指導を強化します。さらに、実践的教育科目(アクティブ・ラーニング)の体系的な導入を進めます。

「経法相互乗り入れ」制度の充実を図るとともに、国際教養副専攻、環境副専攻、情報副専攻の課程を充実させます。また、初年次教育プログラム、外国語教育、情報教育等、きめ細やかで多彩な教養教育を効果的に推進します。

■希望進路の実現に向けた 全学的な就職支援を推進

雇用環境が一層厳しさを増

えるため、入学から卒業まで、修学支援を強化し、学生の立場に立った学生生活支援を実施します。初年次教育プログラムを二層充実させ、学生の修学情報に基づいた個別指導を行います。専門演習を中心に留年生をも含めた卒業時までの継続的な修学支援を行うと同時に、快適なキャンパス空間と満足度の高い学生サービスの提供等に努めます。

■八尾駅前キャンパス建設 画の推進、新学生ホール棟(仮称)建設、花岡キャンパスの リニューアル

「キャリア形成教育の充実」、「プロフェッショナルの育成」、「高度情報化社会への対応」、「地域との連携による社会貢献」を掲げて、2012年新春に開校すべく、八尾駅前キャンパスの建設計画を進めています。同キャンパスは、近鉄大阪線八尾駅から徒歩5分に位置し、少人数教育を重視した各種の教室をはじめ、ライブラリー、

途中で、就業力を向上させるべく、四年間を通じて正課において、きめ細やかなキャリア形成教育を強化します。新しく「キャリア演習」を開設し、演習を通じた汎用的技能、挨拶やマナー等の態度、志向性の養成に努めます。また、「キャリアメンター」制度(就職内定者による助言や指導)を新たに導入し、演習でのより実践的な指導を行います。

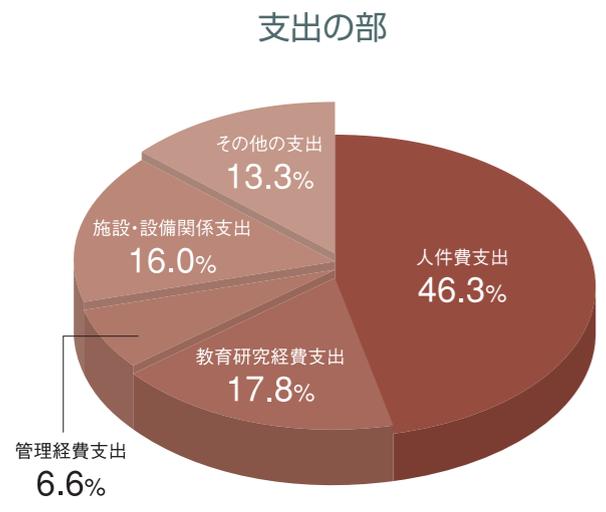
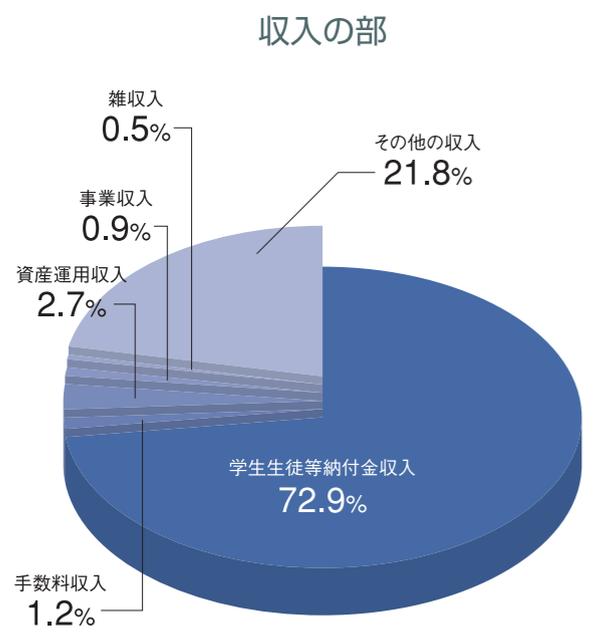
さらに、文部科学省、大学改革推進等補助金事業である学生支援推進プログラムを活用し、ICT(Information and Communication Technology、情報通信技術)を利用したキャリアサポートを充実させます。公務員志望者への支援、女子学生の個別対策、留学生への個別支援、合同会社説明会、IT特訓塾等、多様な取組を通じて、就職率を向上させます。

カフェ、ラウンジ等を備えており、全館でICTを活用できる都市型キャンパスです。

花岡キャンパスにおいては、キャンパスライフを充実させる交流・学習・休憩の場となる、新学生ホール棟(仮称)の建設工事を進めています。新学生ホール棟(仮称)は、学生生活におけるアメニティ施設として、1階・キャンパスレストラン、2階・カフェラウンジ、3階・プレミアムホール/屋外デッキテラスを備え、2011年2月竣工の予定です。また、昨年度の図書館に続き、3号館の耐震改修工事を実施し、それに合わせて演習や語学教育の効果的な実践を支える教室棟としての機能充実、トイレのリニューアル等を図ります。

本学は、2011年に創立40周年を迎えます。本学における今後の新たな教育展開を実現するため、二つのキャンパスの特性を活かした総合的な整備を進めます。

収支構成図



2010年度大学予算書

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

大阪経済法科大学 単位:千円

収入の部	
科目	予算額
学生生徒等納付金収入	2,830,357
授業料収入	2,703,960
入学金収入	113,000
実験実習料収入	9,197
その他納付金収入	4,200
手数料収入	45,468
補助金収入	267
資産運用収入	106,000
事業収入	36,512
雑収入	17,556
その他の収入	847,407
前年度繰越資金	3,326,477
収入の部合計	7,210,044

支出の部	
科目	予算額
人件費支出	1,896,610
教育研究経費支出	726,230
消耗品費支出	39,392
光熱水費支出	73,586
旅費交通費支出	39,750
奨学費支出	81,171
学生厚生費支出	25,355
印刷製本費支出	40,891
修繕費支出	21,218
賃借料支出	17,908
報酬委託手数料支出	231,230
学生活動補助金支出	1,856
その他教育研究経費支出	153,873
管理経費支出	271,445
消耗品費支出	3,793
光熱水費支出	2,134
旅費交通費支出	7,625
印刷製本費支出	53,917
修繕費支出	692
賃借料支出	6,886
報酬委託手数料支出	22,246
その他管理経費支出	174,152
施設・設備関係支出	655,871
その他の支出	492,853
予備費	50,000
次年度繰越資金	3,117,035
支出の部合計	7,210,044

※この2010年度大学予算書は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

2010年度 大学予算収支概要

収入について

2010年度の収入の概要は、以下のとおりです。(金額は、すべて概算額です。)

学生生徒等納付金収入

28億3千万円

新入生、在学生から収めていただく入学金、授業料、実習費等の学費です。本学における、主要な財源となっています。

手数料収入

5千万円

入試の検定料や成績証明書等、各種証明書の発行手数料です。

資産運用収入

1億円

「建物等減価償却引当特定資産」等の資産の運用利息収入です。安全性と効率性を勘案し、預金や国債で運用しています。

事業収入

4千万円

琵琶湖セミナーハウス・東京麻布台セミナーハウスの利用料や留学生宿舍(I.S.D.花園、I.S.D.布施)の寮費収入等です。

その他の収入

8億5千万円

「建物等減価償却引当特定資産」(建物及び構築物の減価償却分を積立て、建物等の建替えや施設等の充実に活用する特定資産)、「建物等修繕引当特定資産」(長期修繕計画に基づき、修繕費を積立てている特定資産)、「退職給与引当特定資産」(退職員の退職金の支給のために積立てている特定資産)等の特定資産の一部をそれぞれの目的に従って取り崩した繰入収入です。

前年度繰越資金

33億3千万円

2009年度からの繰越資金です。

支出について

2010年度の支出の概要は、以下のとおりです。

人件費支出

19億円

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員、契約職員等に支払われる給与等です。

教育研究経費支出

7億3千万円

教育、研究に直接要する経費であり、前項の事業計画に沿って編成しています。今年度において主な内容は、

- ① 各種奨学費事業に8千万円、② 特修講座や資格講座等の開講事業に8千万円、③ ICカードの導入等、情報環境や情報教育の強化事業に6千万円、④ キャリア支援や就職指導の充実事業に3千万円、⑤ 国際教育の充実事業に2千万円、⑥ クラブ等課外活動への支援事業に2千万円、⑦ 初年次や2年次の教育充実事業に1千万円等となっています。

管理費支出

2億7千万円

教育研究活動を支える大学管理運営上の経費や学生募集経費等です。

施設・設備関係支出

6億6千万円

新学生ホール棟(仮称)新築工事や施設の修繕のための支出、教育研究用の機器備品・図書・その他固定資産の購入費等です。

その他の支出

4億9千万円

「建物等減価償却引当特定資産」、「建物等修繕費引当特定資産」、「退職給与引当特定資産」への繰入支出等です。

次年度繰越資金

31億円

次年度への繰越資金です。この繰越資金は、「大学将来対策引当特定資産」として、大学の将来の充実・発展のために活用します。

世界大学空手道選手権大会に 日本代表として出場

7月15日(木)～18日(日)の4日間、モンテネグロ国(首都・ポトゴリツァ)で開催される第7回世界学生空手道選手権大会に、梅木香奈さん(法学部4年生)が日本代表(68kg級)として選出されました。梅木さんは、5月30日(日)に行われた最終選考会での優秀な成績と気迫あふれる試合内容が高く評価され、6月3日(木)に全日本学生空手道連盟の推薦を受け、日本代表に決定しました。



前列右から2人目が梅木さん

アジアテコンドー 選手権大会で惜敗

5月20日(木)～23日(月)の4日間、第19回アジアテコンドー選手権大会がカザフスタン共和国の首都アスタナで開催され、本学テコンドー部から三橋佑樹さん(経済学部1年生・写真右)、小林穂奈美さん(経済学部2年生・写真左)の2人が、日本代表として出場しました。試合は、三橋さんが2回戦惜敗(優勝した韓国選手に判定負け)、小林さんが1回戦で惜敗(判定負け)するという残念な結果になりましたが、2012年ロンドンオリンピック出場を最大の目標に掲げる両選手にとって、海外強豪選手との対戦は大変貴重な経験となりました。



関西学生卓球選手権大会で 男女ともに好成績

5月28日(金)～30日(日)に京都府立体育館と近畿大学記念会館で開催された第79回関西学生選手権大会において、本学卓球部の水内大介さん(経済学部2年生)と酒井晟行さん(経済学部1年生)のペアが男子ダブルスでベスト4に、林正偉さん(経済学部1年生)が男子シングルスでベスト8という好成績を収めました。

また、女子シングルスでも下之段志保さん(経済学部4年生)と刘浩さん(経済学部2年生)が、それぞれベスト8進出を果たしました。

囲碁部2年ぶり3度目の 1部昇格&将棋部 全勝優勝で初のB級昇級

5月29日(土)・30日(日)、6月6日(日)の3日間、関西学生囲碁連盟春季リーグ戦が、アルプス江坂で開催され、本学囲碁部が2部リーグで全勝優勝を達成し、見事1部リーグへの自動昇格を果たしました。2部2位でスタートした春季リ

グ戦は、大阪市大に4対1、京都産業大に3対2、桃山学院大に4対1、甲南大に5対0と無難に勝ち上がり、2部1位の関西学院大との全勝対決も4対1で制し、2年ぶり3度目の1部昇格を決めました。

また、6月6日(日)、同志社大学で開催された関西学生将棋連盟春季一軍戦で、本学将棋部が全勝優勝を成し遂げ、秋季一軍戦から初のB級昇級が決定しました。



対 京都産業大学戦(左が本学)

証券研究関西学生連盟主催 「春季セミナー」 関西ブロック大会を初制覇

6月20日(日)、金融・経済の専門分野をテーマとする大学対抗の討論会、証券研究関西学生連盟主催

2010年度 前期学生大会報告

6月14日(月)、2010年度前期学生大会が、5500号教室で開催されました。当日は、795人(委任状含む)が出席し、学生大会の成立が確認された後、学友会4団体(学友会執行委員会、学友会代議員会、体育会実務センター、文化会本部)から、2009年度後期事業報告が行われました。

□参加学生(すべて3年生)

曾我部祐平さん(リーダー)、加藤大輔さん、高木良輔さん、高良大樹さん、中井悠貴さん、鍋谷傑史さん

の「春季セミナー」関西ブロック大会が大阪経済大学で開催され、本学経済学部の深瀬ゼミが「大学生に対する金融教育について」をテーマにしたセッションで、競合大学を論破し、初優勝を手にしました。

金垣弘幸さん(経済学部3年生) 学友会執行委員会委員長

「頼もしいメンバーとフレッシュな1年生、執行委員会全員で大阪経済法科大学をもっともっと素晴らしい大学にしていきたいと思いますので、1年間よろしくお願いします。

その後、①2009年度後期学友会4団体決算書、②学友会執行委員会新役員、③2010年度前期3団体活動方針、④2010年度学友会前期予算について提案があり、審議・承認されました。



新学友会執行委員会委員(前列中央が金垣さん)

田中誠太八尾市長が講義
テーマ「首長の役割と機能」



開催日	講師	テーマ
7月7日	野中広務元内閣官房長官	「内閣の役割と機能」
6月2日	梶本徳彦元大阪府副知事	「公務員・官僚の役割と機能」
5月19日	中野寛成衆議院議員	「国会議員の役割と機能」
5月12日	西脇邦雄大阪府議会議員	「地方議会議員の役割と機能」
4月28日	田中誠太八尾市長	「首長の役割と機能」

4月28日(水)、共通教育科目「現代日本の議会と行政」の中で、田中誠太八尾市長が「首長の役割と機能」をテーマに講義を行いました。

当日は、約2000人の参加者が聴講する中、首長と議会の関係や予算制度など地方自治の原則から、八尾市の行政課題や橋下徹大阪府知事の掲げる「大

阪都」構想等のタイムリーな話まで、多岐にわたる内容で講義が行われました。同科目は、現職の国会議員や自治体の首長を講師に招き、現代日本の議会と行政についての理解と認識を深め、政治を少しでも身近に感じてもらうことを目的に、今年度から新たに開講されたものです。

総会終了後は、能塚正義学長補佐兼学生就職指導部長(経済学部教授)による講演会「就職力を高める大学生活」が行われ、学生一人ひとりの希望の進路、満足度の高い就職を

2010年度
教育後援会総会・
父母懇談会を開催

6月13日(日)、2010年度教育後援会総会及び父母懇談会が、本学で開催されました。

当日の総会では、2010年度役員(案)、2009年度収支決算書(案)、2010年度収支予算書(案)が各担当者から提案され、審議の上、承認されました。その後、2010年度教育後援会会長に選出された植田嘉子新会長から、「今後とも学生たちへの支援を積極的にしていきたい」と今後の決意と抱負が述べられました。

総会終了後は、能塚正義学長補佐兼学生就職指導部長(経済学部教授)による講演会「就職力を高める大学生活」が行われ、学生一人ひとりの希望の進路、満足度の高い就職を

現するために、大学生に求められる能力や経験とそれを支える本学のキャリア教育について、講演が行われました。

午後から開催された父母懇談会では、学生個々人のデータを基に行う個別懇談や修学・就職・学生生活等、テーマ別に行う懇談会が開催され、参加した父母・保護者から様々な相談が寄せられました。



新任教員紹介



①梁 官洙(やん かんす)
②韓国経済論
③経済学部教授
④大阪市立大学大学院
経済学研究科



①高砂謙一(たかさご けんじ)
②貿易論、銀行論
③経済学部講師
④神戸大学大学院
法学研究科



①高橋美多(たかはし みた)
②企業論特講、経営学入門
③経済学部講師
④京都大学大学院
経済学研究科 博士(経済学)



①中嶋美樹子(なかしま みきこ)
②財務諸表論、証券論
③経済学部講師
④関西大学大学院
法学研究科



①山根陽一(やまね よついち)
②簿記実践I
③経済学部講師
④拓殖大学大学院
商学研究科



①岡田洋一(おかだ よついち)
②民事訴訟法、倒産法
③法学部准教授
④明治大学大学院
法学研究科 博士(法学)



①沼田雅之(ぬまた まさゆき)



①本庄淳志(ほんじょう あつし)
②労働者保護法、社会法特講
③法学部講師
④神戸大学大学院
法学研究科 博士(法学)



①朴 恵一(ぱく へいる)
②コンピュータリテラシー
③教養部講師
④熊本大学大学院
社会文化科学研究科



①山路崇正(やまじ たかまさ)
②経営実践 キャリア演習
③教養部講師
④東京大学大学院
経済学研究科

第40回入学式挙

4月3日(土)、校満開のキャンパスに希望と夢に満ちあふれた新入生を迎え、第40回目となる入学式が本学総合体育館「尚淑館」で執り行われました。

式ではまず、経済学部・法学部の新入生代表から宣誓文朗読が行われた後、藤本和貴学長による式辞、本学姉妹校であるハワイ大学アジア太平洋学部長のエドワード・シユルツ教授、原正憲八尾市副市長による来賓祝辞が、新入生に贈られました。

在学生を代表して行われた歓迎の挨拶では、法学部3年生の岡村美波さんから、「4年間の大学生活を充実したものにするため、目的意識を持って何事にも取り組んでほしい」と、新入生に期待を込めた激励のメッセージが述べられ、入学式は厳粛な雰囲気の中、閉式となりました。



TOPICS

日本短期研修プログラム実施

4月7日(水)～12日(月)の6日間、マセドカレッジ(米国・カリフォルニア)の学生2人を受け入れた日本短期研修プログラムが、本学を拠点に実施されました。

今回のプログラムでは、日本語で行われる授業への出席以外に、英語ポランテニア講座の講師や英語授業のアシスタントなどにも積極的に参加し、本学学生との交流も活発に行われました。また、フィールドワークで訪れた大阪城やホームステイなどを通じて、日本文化を体験することができました。

リサイクル自転車寄贈

4月22日(木)、財団法人八尾市国際交流センターが

ら、本学留学生に対してリサイクル自転車10台が寄贈されました。

このリサイクル自転車の寄贈は、今回で18回目となり、合計寄贈台数も385台となりました。

「新入留学生・生活応援キャンパス」実施

4月10日(土)～11日(日)の2日間、新入留学生及び新規交換留学生の歓迎行事「新入留学生・生活応援キャンパス」が、阪南キャンパスで開催されました。

一般の学生や卒業生も参加して行われた今回のキャンパスでは、留学生のための大学生活オリエンテーションや卒業留学生からの就職活動体験談などが報告され、留学生が日本で生活を送る上での心構えや留意点などについて、説明が行われました。

北京大学総長と今後の交流事業について協議
3月30日(火)、北京大学周其鳳総長及び同大学代表団の日本訪問に際し、藤本和貴夫学長並びに本学教職員が一行を迎え、今後の交流事業などについて協議を行いました。本学と北京大学は、1986年に学術交流協定を締結して以降、学生・教育交流、東アジア学国際シンポジウムの共催など、学術・研究者交流を活発に行ってきました。今回の協議では、両大学の長年にわたる旧交を深めるとともに、今後の交流について幅広い協議と意見交換が行われ、教育・研究面でのさらなる協力関係を構築していくことが確認されました。

記念撮影の様子



今後の交流事業について語り合う藤本学長(左)と周総長(右)

2010年度就職戦線『就業力』を身につける。

本学におけるキャリア形成の取組

厳しさを増す雇用情勢の下、文部科学省は今年5月、「大学生の就業力育成関連施策(大学生の就業力育成5カ年プラン)」を発表しました。その中では、大学生の社会的・職業的自立ができるような「就業力」の向上を目的としたキャリア教育の制度化が提唱されています。本学では、従来から「キャリア開発」、「インターンシップ講座」などの正課科目と就職ガイダンスなど、年間120日にも及び就職支援行事により幅広いキャリア教育を実施してきましたが、より一層のキャリア教育の充実を図るため、2010年4月より3年生を対象とした「キャリア演習」を新たに開講しました。

分自身を表現すること」を通じて、「社会に出ること」、「働く」ということ」を自分なりに理解して行動できる学生へと導くための演習です。1クラス20人程度で、経済学部・法学部学生の混成クラスで編成され、学部を超えた交流が促進されるなど、少人数の強みを生かした授業運営が行われています。

少人数クラスで自己理解を深め、自己表現力を向上

同科目は、自分自身のキャリアを考えるための前提として「社会を理解する」、「自分を理解する」、「自己理解を深め、自己表現力を向上

そこでは、教員やキャリアカウンセラーの話や新しい知識を吸収することにとどまらず、獲得した知識を自らの経験に照らし合わせて、自分らしい文章を作成する課題に取り組んでいます。さらに、毎回のようグルーブワークを課し、自らの言葉で表現することを求めるとともに、お互いの発表を聞き批評し合うことで、自分自身の長所や短所を内省するようになっています。このように「新しい知識を吸収する」、「課題を自分

いくつもの内定を獲得する学生となかなか内定に結びつかない学生との違いは、目を見張るような経験をしてきたとか、すごい能力を持っているとかではありません。大切なことは、自分自身の経験や能力についてありのままに「自信」を持って表現することができるかどうかということです。学生一人ひとりが自らの経験や能力について、自分自身の言葉・文章で表現できるよう、「キャリア演習」を効果的に活用しましょう。

▽2009年度主な就職先

- 製造業/久光製薬(株)、大和冷機工業(株)、ミキハウスグループ
- 建設業・不動産業/積和不動産関西(株)、(株)福屋工務店、(株)レオパレス21
- 金融・保険業/郵便局(株)、近畿労働金庫、野村證券(株)、日本生命保険(相)
- 運輸業・郵便業・情報通信業/西日本旅客鉄道(株)、近畿日本鉄道(株)、郵便事業(株)、(株)サカイ引越センター、(株)TKC
- 卸売業・小売業/(株)AOKIホールディングス、イズミヤ(株)、(株)セ

- ブノーイレブンジャパン、(株)ヤマダ電機、(株)ヨドバシカメラ
- 宿泊業、飲食サービス業/(株)王将フードサービス、(株)幸楽苑、(株)ゼンショー、(株)フレンチドリー、(株)ライブフーズ
- サービス業・医療・福祉/大阪いずみ市民(生協)、大和リース(株)、(株)ピケンテクノ、総合警備保障(株)、セントラル警備保障(株)、(株)ラウンドワン
- 公務員/海上保安庁、自衛官(一般曹候補生)、刑務官、大阪府警、京都府警、京都市消防局、堺市消防局、茨木市消防署

元気いっぱい！
躍動する
経法生



大学生活で培った
忍耐力・責任力・
協調性を社会に出ても
生かしていきたい。

武田隆三郎さん

(法学部4年生)

体育会アメリカンフットボール主将

個性を生かせる「アメリカンフットボール」に 魅力を感じました。

大学入学当初から、何かクラブに入ろうとは思っていましたが、このクラブに入ろうと決めていたクラブは特にありませんでした。そんな時に、アメリカンフットボール部の先輩から勧誘を受け、練習見学に行ったのをきっかけにアメリカンフットボールというスポーツに興味を持つようになりました。

他のクラブの練習もいくつか見学したのですが、クラブ内の雰囲気や先輩たちの丁寧な指導方法が気に入ったのと、アメリカンフットボールには様々なポジションがあるので自分の個性やこれまでの経験を最大限に生かすことができるスポーツだと思い、入部を決意しました。

アメリカンフットボール部は現在、部員15人とマネージャー6人で活動しており、グラウンドでの実戦練習や体育館での筋力トレーニングなどを中心に活動を行っています。

初めて公式戦で勝った時の喜びは、 一生忘れることができません。

1年生の時に行われた公式戦では、全戦全敗という残念な結果になってしまい、大変悔しい思いをしたことを昨日のこのように覚えています。それ以降は、「来年こそは絶対に勝つ」という強い気持ちを持って、いままで以上に真剣な姿勢で練

習に取り組むようになりました。

途中で厳しい練習に音を上げそうになった時もありましたが、先輩や同期の仲間たちの励ましや支えのおかげで、厳しい練習にも耐え抜くことができました。そして、翌年の公式戦で初めて勝利した時は、いままで経験したことのない喜びと感動で胸がいっぱいになったことを覚えています。

何事にもあきらめずに挑戦することで、 必ず結果はついてくると信じています。

最近、第1志望である企業から内定を頂くことができました。今年も大学生を取り巻く就職情勢は厳しいと言われていたのですが、とりあえず内定がもらえたのでホッとしています。これもクラブ活動を含めた学生生活全般で培ったことのできた忍耐力や統率力、協調性が役に立ったのではないかと感じています。そして、最後はあきらめずに最後までやり遂げるという思いが、このような結果につながったと思います。

卒業後は、楽しいことや辛いこともたくさんあると思いますが、大学生活で学んだことを生かし、誰からも信頼される社会人になりたいと思います。

最後に、アメリカンフットボール部は、マネージャーも含め本当に仲が良いクラブなので、興味がある皆さんは是非グラウンドにお越しください。